

市会議案第18号

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催見直しを求める意見書

上記の議案を提出する。

令和3年6月28日提出

吹田市議会議員 馬場慶次郎

同 山根 建人

同 玉井美樹子

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催見直しを求める意見書（案）

新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況については、本年に入り、インドにおいて爆発的な感染拡大が発生するなど、現在でも世界各地で非常に厳しい局面が続いている。我が国においても、同感染症により亡くなった方は全国で1万人を超えており、一刻も早い終息が求められている。

このような状況の中、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が目前に迫っているが、開催地である東京においても、変異株の感染者が急増するなど、予断を許さない状況が続いている。また、新型コロナウイルス感染症対策が遅れ、ワクチンすら国内に十分行き渡らないまま、大会の開催を強行することは、人命及び国民生活を尊重するという観点からも大きく逸脱しており、オリンピックの開催理念からも許容できるものではない。

今、国が総力を挙げて取り組むべきことは、感染拡大の徹底的な防止による医療崩壊の回避、希望者へのワクチン接種の早期完了、生活困窮者や経営不振に苦しむ事業者等への救済措置の徹底などである。

また、このような状況下での大会の開催に対しては、アスリート自身も複雑な思いを抱いており、終息とは程遠い現状を踏まえれば、開催判断の責任を有する者が遅滞なく適切な判断を行うべきである。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、下記の事項に取り組むことを強く要望する。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症が、国内はもとより世界的に終息し、正常な形での開催が可能になるまでの間、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催しないこと。
- 2 感染拡大の徹底的な防止による医療崩壊の回避、希望者へのワクチン接種の早期完了、生活困窮者や経営不振に苦しむ事業者等への救済措置に全力を注ぐこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月 日

吹田市議会